

1. 授業の概要(ねらい)

日本政治の現在を、歴史、理論、行動、国際比較なども念頭に、多角的に捉えつつ解説し、議論の材料を提供し、一方、受講学生には主体的に考え発言することを毎回の授業で促します。事例として、毎回、「今朝」のニュース、新聞・雑誌・テレビ・SNS等に掲載される報道・論説に注目しながら、授業を構成していきます。

政治学をすでに履修した人、並行的に履修する人、これから政治学を学修しようとする人、すべてを念頭において授業します。

授業は、民主政治体制下の「国民」としての政治的素養を培い、就活・公務員試験にも役立つ知恵を育成することを目標に、双方向を心がけながら進めます。

2. 授業の到達目標

実用的で発展的な授業内容の理解と応用ができる
民主政治の下における主権者国民としての意識が向上する
就職試験・公務員試験への対応力が向上する

3. 成績評価の方法および基準

授業内評価(レポート、発言)50%と期末試験50%

4. 教科書・参考文献

参考文献

甲斐祥子・宮田智之著 『政治学のナビゲーター』(2018年)2,200円+税 北樹出版
日刊の新聞各紙、月刊『中央公論』

5. 準備学修の内容

日々、自宅や図書館で新聞を読み、政治ニュースに関心を高めることを習慣づけて授業に臨むことを求めます。授業で使ったプリントをフル活用して期末試験(授業内試験)に挑戦します。毎回の授業は録画録音されますから、復習などに活用します。

6. その他履修上の注意事項

シラバスは目安で、適宜変更することがあります。近年まで政治・外交・憲法担当の新聞記者でしたので、日々の新聞報道を活用した授業を心がけます。

授業中の行動はすべて就活に直結すると考えて、礼儀正しく、現実的、前向きに授業に臨みましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 日本政治の捉え方——現代以前の日本 経済学と現代(1)
 - 【第2回】 明治憲法体制 経済学と現代(2)
 - 【第3回】 戦後の体制(自民党中心)による政治 経済学と現代(3)
 - 【第4回】 国家の枠組みからみた日本 経済学と現代(4)
 - 【第5回】 政治体制でみた日本 経済学と現代(5)
 - 【第6回】 選挙制度でみる日本政治
 - 【第7回】 政党制から見た日本政治
 - 【第8回】 政府と国民との距離
 - 【第9回】 政権(執政)のあり方——大統領制との比較で考える
 - 【第10回】 政策過程における官僚・利益団体の行動
 - 【第11回】 中央と地方自治
 - 【第12回】 政策——安全保障
 - 【第13回】 政策——国際経済
 - 【第14回】 メディアと政治の関係
 - 【第15回】 まとめと試験
- (注)以上のテーマは、時事報道の動向により、変更する場合があります。